

思うかもしれないが、裁判員はやつてみたいと思っていても選ばれなければやることができない。そうした貴重なチャンスでもあるし、私自身は知識も広がって、いい経験だったと思っているので、前向きに捉えてほしいと思う。

A photograph of a courtroom during a trial. Several people are seated at wooden desks with microphones and nameplates. A large yellow watermark "「参加裁判員裁判」" is overlaid across the top left of the image.

・千葉地裁は管内に成田空港があり、覚せい剤の密輸事件の裁判が多い。被害者不在の事件だが、市場に広がったときの影響を考えれば刑の重さは当然だろうなと思う。一般市民が知つておくことが大事だからこそ、裁判員が裁判に参加することが大事なんだと思う。

ご事情がある中で裁判員を経験した方6名に、裁判員として参加した感想などをお話をいただきました。当日の法曹三者（裁判官・検察官・弁護士）の発言とあわせて、ご紹介します。

は、10月の「法の日」
週間にあわせて、「参
加しやすい裁判員裁
判」をテーマとして、
裁判員経験者との意
見交換会を開催しま
した。

（検察官） メッセージ】

裁判員事件は時間も限られているし、なるべく図や写真を使いながら、資料を見やすく作成し、評議の際に裁判員に思い出してもらえるよう心がけている。裁判員経験者にその経験を語つていただくことで、裁判員裁判に参加しようと思つてもらえる人が増えていくと思う。

裁判所を 身近に。

令和7年10月7日(火)
「裁判員経験者との意見交換会」

意見交換に先立ち、
裁判員制度や千葉地
裁の特徴について、
裁判官が説明を行い
ました。



・裁判員裁判に参
加したくても仕事
が休めない人もい
ると思う。国には、
参加しやすい環境
を整えてほしい。

研修を行うなどして、弁護士の実力も向上するようになつ

証拠が厳選された、
【経験者の感想】
法廷で見て聞いてわ
かる審理が行われる
加のための特別休